

警城時報

行發日四
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金卅圓
廣告料一行十四字計五十錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

告示期日愈々迫つて

各派公認詮衡を急ぐ

縣議選舉今や「戦の前夜」

二十五日執行される縣議選舉は、明五日の縣報外で告示される。爲政各派では五日中に何れも詮衡委員會を開き公認を決定し、六日の大安日には大部分分立候補の届出で了し急々實戦に入るものと豫想されてゐるが、目下の情勢から見ると、

民政野派は、郡部獨立を放棄して市部に於ける野崎滿藏氏一本槍を進むと確定してゐる。一方比派は市部から候補者を出さず野三郎、萩原義雄兩氏は確定し郡部から何人を出すか、混沌な状態にあり、部會長齋藤清氏の意圖は、

政友候補は決る

平は關内氏が確定的

政友派は郡部三名乃至四名の公認三氏かの擁立が決定する譯で、認を先づ原則的に決定する必要がある。に迫られてゐるらしく、市部の公認問題にからんで、藤間色々なデマも飛んでゐるが、關内正一氏が確定的であり、政友派は一致して野崎氏に當るものと見られてゐる。郡部の候補は小野平平、進沼龍輔兩氏は決定的で、北部から新人木村守江氏の出馬決定、菊田方部の古川傳一、赤津庄兵衛兩氏の起意如何に依つて四名、民政石城郡部野崎派では六日

召集解除者の選挙名簿

七日から縦覽
平市では九月五日現在で召集解除者の選挙名簿を調製中だつたが、出来上つたので七日から十三

關内氏の慰問金を遺家族へと寄附

前線の三勇士から送金

市内四丁目出身百澤易重、月見金として贈つたものである。町根本健兒、田中野春郷の三君は目下〇〇國境警備の重任に就いてゐるが、四月青沼市長宛に左の手紙に添へて金六圓の爲替を送つて来た、この六圓は過般關内縣議が満支方面慰問旅行のとき前記三君の部隊を訪れ慰問

勅語傳達式

五月二十二日長くも青少年學徒に賜はつた勅語の傳達式は、十五日午前九時から平市公會堂で舉行、平市及び石城、双葉、相馬三郡下の學校長が傳達を受ける。

十一日開票

多額議員選舉

貴族院多額納稅者議員選舉は、十日午前九時から午後三時まで福島縣廳、郡山、若松兩公會堂ならびに平市役所の四ヶ所投票所で行ひ、十一日午前九時から縣廳で開票する旨告示された。

肅正映畫と講演

縣地方課主催の肅正映畫と講演會は左の日程で開催する。▲九日玉川 ▲十日江名 ▲十一日豊岡

銃後生活刷新班

四倉罐詰工場に結成

石城水産加工販賣利用組合聯合會四倉罐詰工場では従業員一同が結束して労働者銃後生活刷新班を結成し、去月二十九日午前九時半より同工場内で結成式をあげたが役員並に班長氏名左の如くである。

班長 信用組合長 門馬倉次
副班長 市川忠吉(工場主任 長谷川儀平(同専務理事)
理事 渡邊實佐、猪狩誠、宮内光次郎
班長 第一班長 岡田政雄、第二班長 大森七、第三班長 鈴木クマ子、第四班長 鈴木キヨ子、第五班長 鈴木キョウ子、第六班長 フジミ子、第七班長 長原本三
尚第一回の班長會議を昨日開き、左の件を決定した。

一、毎月貯蓄實行の件
二、第三日曜日を期して慰問兵の爲め手紙請ひを行ふ件
三、大浦村常會 大浦村では三日午前九時より興亞奉公日紀念の村常會を同村小學校講堂に開催し左の協議を行つた。

見舞金を寄附

平市警防團交通整理班長白土喜伯氏は過般の防空演習で公傷を負ひ、縣警防協會から見舞金十四日、昨日午後九時半自宅前の櫻の木で贈られたがこれをそのまゝ四纏死をとげた。

時局知らぬ男

植田署に檢束
錦村吳羽紡績工場分拆係主任木田正(三)は去る二日夕刻植田町料理店あづまやに登樓飲酒し、三日前午一時すぎまで放歌どちやん騒ぎする中で植田署員が注意すると悪口雑言を吐きまゝつさ(亂暴を働いた)腹で檢束された。

老婆保護願ひ

伊達郡小坂村生れ熊坂登(八七)は三日大野村駐在所へ保護方を願ひ出たので事情をきくと登坂さん(八七)は内郷村高坂坑に雜貨商を営んでゐるといふ實子半藏を頼つて来たが居所が判らぬうち旅費に窮したものと分り四倉署で半藏さんへ引取り方を通告した。

平市人事録

出生 鷹匠町七山崎義徳さん

致して居ります、御蔭様で我等同益々元氣旺盛にて以前とは稍々不便な生活ながら有事に備へ日々の訓練に精進致し居りますから御休心願ひませ、扱て同封の爲替は關内正一氏慰問のためわざわざ御越しの御り我々三人に御さまへたもの、お尋ね下されさへ何より有難く候かしのものであります其の上金子まで戴きましたは只無意味に費消するよりは有効に使つて戴く事

に決しました、甚だ惜越で有長横山太一氏次女愛子さん(一五)が常市出身の我々の先(六)同町運轉手長谷川鶴次(二五)に戦死された人々の遺家(六)山田村小山田長雄田進(一六)の三名が發病隔離された

炭礦勞務者講習
平館寄付 市内映畫常設平館では郵便局への出張映畫會を御覽願ひ上げます

機械の下敷
小名濱町御代光雄さん(三三)は三日午後零時半頃日業工場の旋盤機(重量三百貫)の運搬作業中その下敷となつて両手足に全至四肢間の重傷を負つた

天氣豫報

今晩は北東の風雲小雨
明日は北西の風曇驟雨模様
權威ある知進社出版
工學書特價提供
殘部僅少！御來店の上
御覽願ひ上げます

- 著者名 書名 定價 特價
- 知進社 七桁對數表並に計算尺使用法 三〇〇〇 一、八〇〇
- 工務員必携實用便覽 一、八〇〇
- 國解機械工作法 一、八〇〇
- 實習指針 二、〇〇〇 一、六〇〇
- 村田榮太郎 萬能旋盤ねじ切り機 換齒車表 一、〇〇〇 一、五〇〇
- 吉原鐵夫 精密測定器及測定法 二、〇〇〇 一、五〇〇
- 應用自在工業便覽 二、〇〇〇 一、五〇〇
- 最新旋盤及ミリングマシン増訂版 二、〇〇〇 一、八〇〇
- 増訂版の機械製圖の見方と引き方 二、〇〇〇 一、八〇〇
- 實地工作法見習から機械師になるまで 二、〇〇〇 一、五〇〇
- 師にならざるに機械師 二、〇〇〇 一、五〇〇
- 貴田義一 工務員必携 一、〇〇〇 一、〇〇〇
- 工務員必携便覽 一、〇〇〇 一、〇〇〇
- 附工業用語 一、〇〇〇 一、〇〇〇
- 江川三男治 探礦必携 一、〇〇〇 一、〇〇〇
- 山口巖 技工必携 一、〇〇〇 一、〇〇〇
- 前崎英一 機械工業ハンドブック 二、〇〇〇 一、八〇〇

室内用竹レール創始
高尚優美 防虫防腐製品
無音低塵

美しくし。打付けよい
國華レール

新案用(二一四二八八號)
新案用(一九三六四七號)

京都府園部町 國華第一工場
全 綾部町 國華第二工場
全 宮津町 國華第三工場
東北六縣特約販賣店

合資 平銅鐵機械商會
代表社員 井尻七三郎

特約店募集
縣を單位に一市一ヶ所確實なる御賣特約店
一郡單位に一町村一ヶ所確實なる小賣店を
希む
御照會の折は見本携行早速社員參上御相談
申上候

開業廣告

物理療法 内科 小兒科 専門

診療時間 平市五丁目二
自午前八時 至午後六時
額賀醫院
(元平松宅)

太鼓 各種

▽神社佛閣用太鼓
▽武徳道場用太鼓
▽歓迎迎用音楽隊樂器(タナ、製品)
カクログ進呈

平市六丁目
佐藤太鼓樂器店
電話四八三

人絹とスフには
特許新興織物補強劑を
効能用途
一、綿物繊維が防水されますから水や醤油、ソー
スが附かず浸が透しません
二、虫の付き易いセル、モスリン、毛織物に虫食
の心配がありません
三、明石、絹、紗の如き汗や水に縮み易い織物は
防縮が出来ます
四、人絹、スフ等の織物は補強されますから二、
三割強くなります
定價三十錢 三反量
福島縣配給所
三井吳服店
平市三丁目 電話二八四番

冷凍魚
日本水産特約(電三六三三六)
卸賣平製氷會社
尾瀬平代理店(平魚問屋)
尾瀬平(電話五三八)
おしり
鯛 鮭 金頭 帆立貝
エビ イカ 貝類 其他

腸胃 性病 専門
内科 胃腸病科
花柳病科 泌尿器病科
皮膚病科 肛門病科
松村 腸胃病 性病科
院醫科 腸胃病 性病科
(番七〇一電) 町南市平

味噌と油
吉屋
平市古銀治町
電話(營業部専用)一〇番
振替東京一九七五五番

募集
永續者には將來の保證を致します
ボ一イさん
◆堅實な營業方針のサロンのお客
様は當地一流の方ですが、社交儀
式はなな方に接することが成功の糸口と
なり
◆定評あるサロンの調理法を
御教授いたします
◆見習ひとして調理場に御勤務出來
る御婦人に限る
◆14歳以上30歳迄の健康な方
◆3年以上勤續出來る方
◆視聽者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
電話529

安田生命 火災 保險
日本共立火災 東京動産火災
平代理店 井上貞治郎
平市五丁目 電話六六番

公債・債券 一般
三井質店
平市四丁目
電話六〇六番

平市田町(電話五二三番)
高久病院
院長 高久 忠
副院長 赤羽 清
藥局長 佐竹 菊雄
内科 小兒科 外科 花柳病科
耳鼻咽喉科

内臓外科 院長 安齋 徹
エックス光線
産婦人科 醫學士 小松 千秋
平市田町(電話四五七番)
安齋醫院
入院隨意

外科 一般
金成醫院
金成 忠義
平市鎌田町(電話三五八番)

長男の葬儀に際しては遠路の處御
會葬被下且つ御寧重なる御香奠を
賜り感謝の至りに堪へず候實は拜
趨御禮申上可筈の處乍略儀書狀を
以て御厚禮申上度如斯御座候敬具
昭和十四年八月三十一日
石城郡平市堂の前廿一番地
父 山下 健藏
親戚總代 伊東 一
赤井村製材工場
工友會一同